# 明るい交通社会を築くため

〃国民一人一人のゆみない努力があれば、交通社会を明るく、平和にすることは必ずしも不可能である。〃

これは本年一月二十日の交通安全国民総ぐるみ中央大会の決議文の一節です。私たちの前を、後を、そして右から左から、車の流れがありますこの激しい車の往来の中に平和な明るい生活を過ごそうとするには、私たち（歩行者、運転者）一人一人が今日一日、自分を事故から守り、相手の人命を尊重する努力をしなければなりません。

春の全国交通安全運動期間は五月二十日で終りましたが、本当は一年三百六十五日が交通安全運動の期間でなければなりません。交通安全運動旬間に示した交通態度を日常実行するように心掛けたいものです。昭和三十九年中に発生した交通事故の主な原因となった運転者と歩行者別の行為を調べると、運転者によるものとして、一、酒酔運転　二、わき見運転　三、ハンドル操作不適当　四、追越不適当　五、交差点不進行　六、安全速度違反　七、斜横断

歩行者によるもの　一、車の直前直後横断　二、飛び出し　三、幼児のひとり歩き　四、酒酔歩行　五、踏切不注意

となっており、更にこれを両者比較をしますと、前者が九三、八%、後者が六、二%であり、運転者側による事故が今日一日、自分を事故から守りになると思います。

特に酒酔い運転による事故は依然として跡をたたないばかりでなく、更に増加している状況であります。酒酔い運転事故は運転者本人がその気になれば絶対に減少することができる事故ですので、周囲の人々も車の運転をする者に絶対に酒をすすめない〃親切〃を実行したいものです。

少しばかりと言う油断から大きな事故がひき起されます。

# 国民健康保険税はなぜ上がる？

## ＝四十年度　一九五八〇千円＝

新聞、ラジオ、テレビでお正月早々からさわがれ、最近また東京地方裁判所での医療費職権告示停止などで報導されている医療費は、光町でも例外でなく増えつづけています。国民皆保険の主旨が広まり、皆さんが国民健康保険を充分に利用されることは健康なまちづくりのためにも大いに必要です。しかしこの医療費のなかには、被保険者の皆さんが負担しなければならない国民健康保険税が含まれており、これが増えることが問題になってきます。

ではなぜ国保税が増えるのでしょうか。

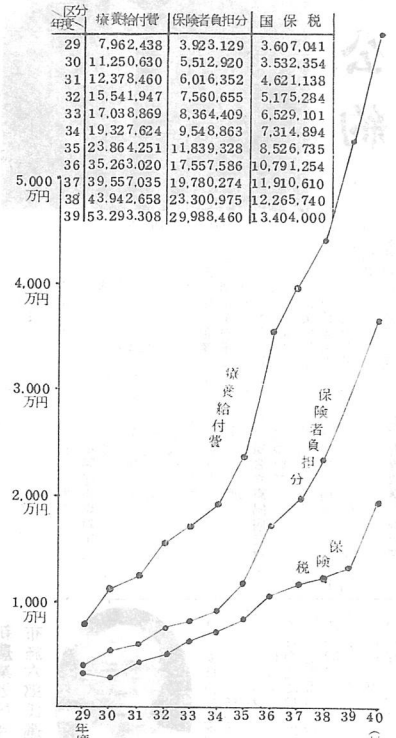
〔年々ふえる医療費〕

光町で国民健康保険を始めた昭和二十九年度の医療費を一〇〇とすると五年後の三十四年には二四三に十年後の三十九年度では実に六六九と七倍近くなっています。原因としては、物価の上昇等に伴う医療費の値上げ、お医者さんにかかる人が毎年増えることと、治療の内容が充実されてきたことなどがあります。

このため、今まで四回に別けて、徴収していた国保税を五回にして納税者の皆さんが納付しやすくなるよう計画中です。

国保税は、お互いに助けあって病気を治し、健康なからだを保っていくための税金でお医者さんに診察を受け、税負担分とは、そのうち町で支払う金額です。

（別表は過去十一年間の統計で、療養給付費とは医者にかかったときの金額、保険者




# 入導豚牡種ヤ バークシヤ種

## に途目を産生の種配配と成育の種純粋

家畜人工授精所では、豚の純粋種の繁殖保持育成とともに最近大きくクローズアップされた交配種の生産のため、今までいなかったバークシヤ種の牡を県畜産試験場から導入しました。

**交配種とは何か？その特性**

交配種は両親よりも強健であり、活力に富み、繁殖力も旺盛で早熟にして飼料の要求率が低く、発育も肉質も良好である特性を利用するものです。しかしこれにはラードタイプの種類と、ポークタイプの種類との交配の場合のみ有効です。

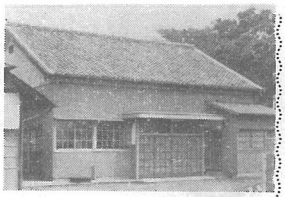
元来豚にはラードタイプ、ポークタイプ、ベーコンタイプ等があり、バークシヤ種はラードタイプに属しヨークシヤ種はポークタイプであり、ランドレース種はベーコンタイプに属するもので、また中ヨークシヤ種を中心として比較すると、バークシヤ種は骨が細く仔豚の生体重も大きく、特に飼料中粗繊維の消化力が高くラードタイプの為脂肪が多くなっています。ランドレース種は発育が良く仔豚の生体重も大きく特に母体の沁乳量が多い。また飼料の利用性が高くて皮下脂肪が非常にうすいのですが、ただ発情の期間が長く外陰部の発赤がうすいので種付適期をつかむのが困難です。中ヨークシヤ種は大ヨークシヤ種と小ヨークシヤ種との交配により生じ、両品種の美点を兼備して肉質良好で屠体効率が高く生肉、加工等に利用されます。このようなそれぞれの特徴を我々生産者はいかに利用するかと云う処に問題点があると思われます。

飼料効率を高め、肉質の良い豚を生産するために交配種を利用するのですが、この場合遺伝の法則に従い必ず一代雑種、或は三元交配種の利用にとどめ雑種どうしの交配は絶対にさけるべきです。

今後はヨークシヤ種、バークシヤ種、ランドレース種等の一代雑種の生産を計ると共にその前提として土台となる中ヨークシヤ種、バークシヤ種ランドレース種の純粋種を育成すべきでしょう。

# 雨期から盛夏にかけての家畜の管理について

## 〃吸血虫を追放〃



通風が悪く湿気が多いという事は種々の細菌を繁殖させて色々の病気を併発させる結果となります。畜舎の管理を良くする事は当然のことです。特定の病気を除いては殆んど治療によって治るが、夏になって一番家畜に困る事は蚊とハエと蚤でしょう。これだけのものがいなくなったらどれ程気が楽になるか知れません。特に養豚家に蚊は頭が痛くなるもので、すでにご承知の如く蚊によって媒介するトキソプラズマ症、日本脳炎、各種皮フ炎等なかなか厄介な病気です。最近は黄疸りの周囲或は黄の中に黒い小さな吸血虫が無数に発生してまず一面に紫色となって苦しみます。この虫に刺されると体表また皮フ病といっても湿疹、蕁麻疹、伝染性膿疱性皮膚炎、疥癬等ありますが、蕁麻疹をとわず発生を見るので特に衛生に注意することが大切です。

除いては皆この小さな蚊その他の昆虫によるものです。本年度は大敵である吸血虫の駆除を一層強める様心掛けましょう。

## ▼衛生便り▲

### 伝染病予防について

これから、発生する主な伝染病は赤痢、腸パラチフス、や子供に主に発生する日本脳炎、百日咳、ジフテリア、小児まひ等ですが、赤痢は季節をとわず発生を見るので特に衛生に注意することが大切です。

## 橋場青年館完成する

部落青少年の話し合いの場として部落民の熱望により完成した橋場青年館は総坪数三十五坪内三十六帖の大会議室小会議室ステージ付の近代的な集りの場として完成しました。

青少年の集会をはじめ部落の人たちのさまざまな会合にみんなのサロンとして大いに利用されることでしょう。

下水、便所等の清掃はもちろん、ハエ、蚊の発生し易い処は充分な清掃と駆除薬と消毒薬の撒布を実施すること。ハエ、蚊の駆除薬は町より区長さんを経て撒布時前に一戸当り五勺の割で配布してありますので共同撒布等により予防に万全を期せられるようお願いします。

# オリンピック選手生れるか？

## ＝三十九年度赤ちゃん＝

## ＝優良児決まる

三十八年度中に生れたうち十四人の赤ちゃんが、去る三月二十四日保健婦立会いの下に表彰されました。いずれも甲乙つけがたく立派に育てられた赤ちゃんで、一人一人に助役から表彰状や、記念品が手渡されました。ひょっとするとこの中から未来のオリンピック選手が誕生するかも知れませんね。（表彰された赤ちゃんとお母さんの名前（　）内は次のとおりです。

林　孝信（和代）
加瀬　義一（静枝）
馬場　和子（宮子）（敬子）
岩沢　満（嘉子）
神田　政之（正子）
村越　昭子（照子）
須合　康二（叔枝）
大木　数弘（雅子）
鈴木　光子（富枝）
向後　和彦（栄子）
鈴木美代子（あき子）
大木　和弘（征子）
大木　貴之

# 町消防団役員（部長）再任される

去る三月三十一日をもって任期満了となった町消防団役員は四月一日付をもって団長以下幹部役員は再任され再びニケ年間町の消防行政の為尽力していただくことになりました。

◇消防団役員氏名

団長　信田市郎左衛門
副団長　平山静雄
〃　加瀬栄治
〃　森真一
全本部長　鈴木英夫
〃　瀬末重雄
全本部庶務部長　加藤秀一
全企画部長　伊橋健一
全訓練部長　川野勝夫
全連絡部長　野村正夫
全ポンプ長　中須辰雄
全ポンプ長　水須辰雄
中央分団長　越川四郎治
全第一部長　水須辰雄
第二部長　小林一衛
第三部長　大木重雄
第一分団長　平山忠男
全第一部長　平山迪男
第二部長　伊橋秀夫
第三部長　花沢孝一
第二分団長　鈴木正夫
全第一部長　土尾武夫
第二部長　平野光一
第三部長　栗田恵一
第三分団長　須合平一
全第一部長　越川勇
第二部長　岡野茂雄
第三部長　本橋正士
第四分団長　土屋隆
全第一部長　大木彦重
第二部長　岩沢清一
第三部長　谷川善英
第五分団長　鈴木俊好
全第一部長　伊藤秀雄
第二部長　藤代照己
第三部長　林元良
第四分団長　越川正敏
第六分団長　後藤憲治
全第一部長　越川良一
第二部長　越川寿一
第三部長　伊橋忠一
第七分団長　実川栄一
全第一部長　実川文雄
第二部長　伊藤輝雄
第三部長　浅野武久
第八分団長　伊藤文雄
全第一部長　伊藤一雄
第二部長　伊藤哲夫
第三部長　伊藤恵治

〈訂　正〉

前号で町の財政事情をお知らせいたしましたが、その中で二面の昭和四十年度一般会計予算款項別の表中寸出の議会費の予算額八八五三千円とあるのは三八五三千円の誤りですのでお訂正して訂正します。

# 空をとぶ私の心の決

## よい子の作品



白浜小四年　大木　彰子
白浜小六年　川野あさ子
白浜小二年　いざわみずこ

## 編集後記

新町長誕生し力強く就任の抱負と緯りんを述べられ、すべての期待にお応えする覚悟と出航の諸準備を整えた権名丸は、今や港の岩べきを放れた感を受ける。

乗員一同航海の無事を祈るかたわら、幸せに繋る漁獲高の積み上げをほくそ笑みするときのような楽しめを乞い希わずにはいられない。

町の発展はすべて和の結合と協力一致態勢の確立であり揺るがない、そしてたくましい努力こそ何よりの糧であることを、広報発行担当の私達も一層その感を深めつつ、本号編集のけりをつけた。

〈編集員一同〉